事例No.	1646
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	和歌山県みなべ町

事例区分	公営企業

タグ	・簡易水道事業 ・公共施設の集約化等 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

簡易水道事業の上水道事業への統合

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【和歌山県みなべ町】
簡易水道事業の上水道事業への統合

広域化等　水道事業

和歌山県みなべ町生活環境課水道室

● 取組の概要

山間部に所在する簡易水道事業について、採算性の確保を図り、併せて施設の集約及び耐震化を実現するため、上水道事業との統合を行った。

◆総事業費　施設の統廃合に係る建設改良費等　約520,000千円

◆背景

- 山間部にある簡易水道事業は、管理運営に多額の費用が見込まれるも、人口減少に伴う収益の減により採算性の確保が困難となっていた。
- この課題を解決するため、簡易水道事業を上水道事業へ統合することとした。

◆具体的内容

- 令和2年度からの統合を計画し、公営企業会計への移行に向け、資産の整理、経費の仕分けを行い、令和元年度に簡易水道事業特別会計を打ち切り決算とした後、上水道事業へ統合した。

◆効果

- 上水道事業と簡易水道事業の統合に向けて山間部に点在する浄水施設等を共有するよう整備し維持管理費を削減した（統合前の両事業合計の維持管理費：約56,000千円/年、統合後の維持管理費：約47,000千円/年⇒▲約9,000千円/年）。
- 上水道事業への統合により、簡易水道事業の施設についても、企業会計に基づく財務諸表を作成することとなり、資産状況や収支状況が明確化された。
- 厚生労働省の生活基盤施設耐震化事業の採択交付要件を満たしたことにより、交付事業の採択を受け、山間部の簡易水道施設の整備を行った（事業費：約520,000千円）。

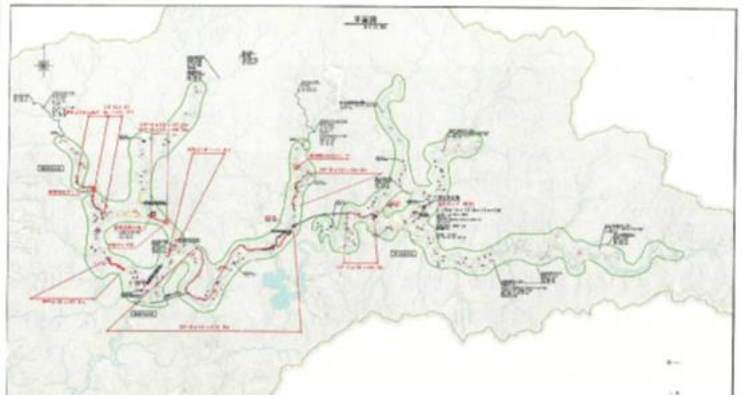
● 取組のポイント

- 円滑に事業統合を行うため、労力のかかる資産の洗い出し等の作業を外部の業者へ委託した。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　12,116人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　120.28km^2（令和4年1月1日時点）
- 給水人口　12,134人（令和3年度決算）

交付事業による山間部
簡易水道施設の整備



交付事業により山間部の水道施設を整備、高野浄水場、東神野川浄水場の給水業務を停止し予備施設とした。

● 取組のスケジュール

- 平成26年度　統合について検討開始。
- 平成27年度　資産洗い出し等の作業を委託。
- 令和元年度　簡易水道事業を打ち切り。
- 令和2年度　事業統合。

● 今後の展望

- 会計適用により把握することができた資産情報を踏まえ、点在する水道施設のダウンサイジングを検討しながら行い維持管理費の削減を目指す。